

「話し方講座」を開催しました

2月15日（水）にWBS和歌山放送のアナウンサー 平井理弘氏に来ていただき、話し方講座を行い、中学部・高等部の8名の生徒が参加しました。自分の考えを相手に伝えるためには、大きい声を出すことやはっきり話すことが大切であると教えていただきました。また、腹式呼吸や母音の発音を実際に見ていただきました。始めは恥ずかしくてなかなか大きな声が出なかった生徒もいましたが、平井氏にマンツーマンで指導していただき、「もっとリラックスして」「大きな口を開けて」「部屋に響いて耳に聞こえる声を確認して」などとアドバイスをいただくうちに、部屋中が大きく明るい生徒たちの声でいっぱいになりました。大きく口を動かしたので、中には「口が疲れた」という生徒もいました。

また、最後にはニュース原稿や小説の一部を実際に読んでいただき、自然と拍手が起きました。さらに高校野球の実況も担当されているということで、試合中にホームランが出たときの実況も実演してくださいました。ボールがどのように飛び、選手たちがどのように動いたのかという情景が思い浮かぶような迫力のある実況を聞き、生徒だけでなく教員も大興奮でした。



小学部6年生が給食の献立を考えてくれました

2月17日（金）の給食は、小学部6年生の児童が、家庭科「1食分のこんだてを立てよう」の授業で考えた献立でした。「やさしいっぱいキーマカレー」と、「さっぱりサラダ」です。キーマカレーには、れんこん・ピーマン・にんじん・たまねぎ・ひき肉が入っています。れんこんやピーマンは、苦手な子も多いと思いますが、カレーに入れることで食べやすくなるのではないかと考えました。粗みじん切りのれんこんは食感も良く、大好評でした。サラダには、ブロッコリー・カニカマ・コーンが入っており、見た目も鮮やかです。

今年度は調理実習が実施できていませんが、自分が考えた料理を食べる経験をすることができました。



れんこんの
歯ごたえが
アクセント！



日記を
紹介します！

『きょうは、わたしがかていかのじゅぎょうでかんがえたきゅうしょくです。キーマカレーのなかには、いろんなやさいがはいていました。いろどりもかんがえました。みんながおいしうっていってくれてうれしかったです。またきかいがあったらかんがえたいです。このことをままやひいばあちゃんたちにおしえてあげたいです。それにじぶんでかんがえたからふつうとおもったけれど、けっこうおいしかったです。みんなにおいしいおいしうっていってもらえるのってけっこううれしいもんなんです。』